

令和7年度 「学力向上 TSP」 SingCBT 版 実施マニュアル

- ご担当の先生は、本マニュアルを事前にご熟読ください。
- 本マニュアルは、追加・修正等が入る可能性があります。
最新版は右の二次元コードよりご確認ください。
- 新学社 LMS「まなびボックスプラス」のマニュアルも
右の二次元コードよりご確認ください。
- 物理キーボードを使用しない場合の入力マニュアルは、
右の二次元コードよりダウンロードをお願いいたします。
- 二次元コードが読み込めない場合は、下記 URL よりアクセスしてください。



https://www.sing.co.jp/ict/cbt-lms_ss/

最終更新日：令和8年1月28日

株式会社 新学社

1 CBT 実施 1 ～ 2 週間前までの準備

1-1 実施前にお送りする資料.....	3
1-2 CBT 実施までの主な流れ.....	3～4
1-3 CBT 実施 7 日前までの準備①.....	5
1-4 CBT 実施 7 日前までの準備② 生徒への事前学習の指示.....	5
1-5 CBT 実施 7 日前までの準備③ 操作練習問題の実施.....	6～7

2 CBT 実施前日～当日

2-1 前日～当日のスケジュール.....	8
2-2 CBT 実施当日の準備.....	8
2-3 生徒への周知事項.....	8
2-4 実施にあたっての留意事項.....	9

3 CBT 実施台本 10～12

4 CBT の追試..... 12

5 結果資料の確認・配信..... 12

6 Q & A..... 13～16

Ⅰ CBT 実施 1 ～ 2 週間前までの準備

Ⅰ-1 実施前にお送りする資料

CBT 実施に伴う資料一式は、CBT 実施予定日の 7 ～ 14 日前をめどに弊社より発送いたします。届きましたら、内容に過不足がないか確認してください。不足等があった場合は、お手数ですが、至急弊社特約店までご連絡をお願いいたします。

送付資料	数量
① 実施マニュアル（本冊子）	各組 1 部
② メモ用紙 ※申し込みがあった場合のみ	各組 40 部 × 実施教科分
③ 英語リスニング CD ※英語を採用した場合のみ	各組 1 枚

Ⅰ-2 CBT 実施までの主な流れ

時期	内容
CBT 実施 14 日前まで	<p>●新学社 LMS 「まなびボックスプラス」の利用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社より学校管理者メールアドレスにお送りした情報をもとに、「まなびボックスプラス」の利用を開始してください。初めてログインされる際は、パスワードの変更をお願いします。 ・教師用アカウント、生徒用アカウントの配付とパスワードの変更、また、必要に応じて、アカウント連携の設定をお願いします。 <p>●CBT の実施日時申し込み</p> <p>「まなびボックスプラス」からの案内に従って、生徒に「出題のポイント」を配信し、実際に CBT を実施する日時をお申し込みください。申し込み受理後に、「操作練習問題」の実施が可能になります。</p> <p><注意></p> <p>実施日時の申し込みがないと、CBT を実施いただけません。また、同じ日時で実施可能な人数には限りがあり、早くお申し込みいただいた学校様から順次確定しておりますので、実施希望者が多い日時の場合、ご希望の日時に実施いただけない可能性がございます。</p> <p>ご希望日に実施いただけない場合は、弊社より改めて日時変更のご依頼をさせていただきます。お申し込み後の変更も可能ですので、早めのお申し込みをお願いいたします。</p> <p>なお、実施時間は、当日のトラブルなどへの対応を考慮して、当日 9 時から 17 時を実施時間として設定されることを推奨いたします。</p> <p>●セキュリティ等で「まなびボックスプラス」に接続できない場合は、教育委員会等にご相談ください。</p> <p>※「まなびボックスプラス」の使用方法や CBT の実施日変更の方法については、表紙の二次元コードから、「まなびボックスプラス」のマニュアル（SingCBT 用）をご参照ください。</p>
	<p>注文時に「まなびボックスプラス」未登録の場合は、弊社で事前に設定完了済みのため、操作不要です。</p>

	時期	内容												
2	CBT 実施 7日前まで	<ul style="list-style-type: none"> ●実施関連資料の受領 ●テスト会場（教室）での動作確認 <ul style="list-style-type: none"> ・教師用アカウントを利用し、生徒が実際にテストを受検する教室で正常に動作するか、動作確認をお願いいたします。 ●実施用コンピュータ（予備機を含む全台）と実施場所の確認 ●生徒へ事前学習の指示 <ul style="list-style-type: none"> 生徒には「出題のポイント」とともに事前学習用デジタルドリルが配信されています。事前学習に取り組むよう指示してください。 ●操作練習問題の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・接続テストと生徒の操作練習を兼ねて、操作練習問題を実施してください。（実施時間：約10分） ・接続テストのため、実施当日に受検予定の人数での同時アクセスをお願いします。ここで学校のネットワーク環境によりスムーズにアクセスできない場合は、分散実施等をご検討ください。 <table border="1" data-bbox="528 898 1442 1285" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">内 容</th> <th style="text-align: center;">時間の 目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">練習前</td> <td>入室・着席 ログイン操作 生徒への説明</td> <td style="text-align: center;">3分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">練習中</td> <td>操作練習問題を実施 ※操作に慣れる目的のため、必要に応じて延長しても構いません。</td> <td style="text-align: center;">5分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">練習後</td> <td>ログアウト操作</td> <td style="text-align: center;">1分</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・操作練習問題は何度でも実施可能です。操作に慣れる目的のため、本番までは生徒に自由に使用させて構いません。 	内 容		時間の 目安	練習前	入室・着席 ログイン操作 生徒への説明	3分	練習中	操作練習問題を実施 ※操作に慣れる目的のため、必要に応じて延長しても構いません。	5分	練習後	ログアウト操作	1分
内 容		時間の 目安												
練習前	入室・着席 ログイン操作 生徒への説明	3分												
練習中	操作練習問題を実施 ※操作に慣れる目的のため、必要に応じて延長しても構いません。	5分												
練習後	ログアウト操作	1分												
3	CBT 実施 当日までに	<ul style="list-style-type: none"> ●CBT 申込状況の確認 <ul style="list-style-type: none"> 「まなびボックスプラス」のマニュアルに従い、CBTを受検するクラスでテストの申し込みが完了しているか（「申込完了」マークが表示されているか）ご確認ください。 ●ルビの有無の変更 <ul style="list-style-type: none"> ルビが必要な生徒には、「ルビあり」を選択してください。 												
4	CBT 実施当日	<ul style="list-style-type: none"> ●CBT の実施 												
5	CBT 追試 (必要に応じて)	<ul style="list-style-type: none"> ●CBT 実施当日に欠席した生徒の追試 <ul style="list-style-type: none"> ・追試は1教科・1クラスにつき1回のみ実施可能です。まとめたの実施をお願いします。結果資料は追試終了後に配信が可能になります。 												
6	追試終了以降	<ul style="list-style-type: none"> ●結果資料の確認 ●生徒への結果資料（事後学習用デジタルドリル付き）の配信 ●二次資料の確認 												

1-3 CBT 実施 7 日前までの準備①

CBT 実施 7 日前までに、次の (1) ~ (5) の準備、確認、設定をお願いいたします。

※予備機を含め生徒用コンピュータ全台を対象に実施をお願いいたします。

(1) CBT システムへの円滑なアクセスの確認

- ・教師用アカウントを使用して、実際に生徒が受検する環境で CBT の問題にアクセスしてください。

(2) コンピュータのシステム設定や準備

- ・使用するコンピュータの OS およびブラウザが最新のバージョンであることをご確認ください。(最新バージョンでない場合、動作に不具合がおきる可能性があります)
- ・CBT の画面を隠してしまうもの(教育関連ソフトのメニュータグなど画面の最前面に表示されるもの)がある場合、対処をお願いいたします。
- ・CBT 実施中にコンピュータがスリープモードにならないように設定をお願いいたします。(待機時間を「なし」に設定)
- ・あらかじめ、予備機を含めたコンピュータの充電をお願いいたします。

(3) 実施場所の準備

- ・実施場所に解答の参考となるような掲示物がある場合は、開始前に取り外す、または模造紙等で隠すなどのご対応をお願いいたします。

(4) 英語リスニング CD の試聴 ※英語採用時のみ

- ・英語のリスニング問題は一斉放送で行います。CBT 実施時に使用予定の機器で正しく再生できるか確認をお願いします。

(5) 試験監督先生用の端末の準備(充電を含む)

- ・当日は、試験監督の先生が「まなびボックスプラス」上で CBT の開始・終了の作業を行います。該当クラス担任の教師用アカウントでのログインが必要なため、必要に応じてアカウント情報の共有をお願いいたします。

※CBT を実施される時間帯に、学校側のインターネット回線が混雑しないよう、他の学年やクラスでインターネットの使用を制限していただくなど、調整をお願いします。(本システムに使用するサーバーは、約 3000 人程度まで同時使用可能ですが、学校のインターネット回線に影響を受ける可能性があります)

本 CBT の推奨帯域は 3Mbps です。

1-4 CBT 実施 7 日前までの準備② 生徒への事前学習の指示

「まなびボックスプラス」から生徒には「出題のポイント」(事前学習用デジタルドリル付き)を課題として配信されていますので、事前学習に取り組むよう指示をしてください。

生徒が「まなびボックスプラス」のログインに慣れるよう、指導をお願いします。

1-5 CBT 実施 7 日前までの準備③ 操作練習問題の実施

(1) 実施のスケジュール

内 容		時間の 目安
練習前	入室・着席 ログイン操作 生徒への説明	3分
練習中	操作練習問題を実施 ※操作に慣れる目的のため、必要に応じて延長しても構いません。	5分
練習後	ログアウト操作	1分

- ・接続テストと生徒の操作練習を兼ねて、操作練習問題を実施してください。（実施時間：約 10 分）
- ・接続テストのため、実施当日に受検予定の人数での同時アクセスをお願いします。ここで学校のネットワーク環境によりスムーズにアクセスできない場合は、分散実施等をご検討ください。
- ・操作練習問題は何度でも実施可能です。操作に慣れる目的のため、本番までは生徒に自由に使用させて構いません。

(2) 操作練習問題実施台本

生徒の入室・着席～ログイン操作	□ はチェック項目、『 』はセリフ
①生徒の着席の指示	□生徒の出欠確認
②コンピュータ等の準備の指示	□コンピュータ等の準備 『コンピュータの電源を入れてください。』 『質問がある時は、静かに手を挙げてください。』 □全員のコンピュータにログイン画面表示
③まなびボックスプラスへのログインの指示	□まなびボックスプラスへのログイン 『まなびボックスプラスにログインしてください。』 □ログインの確認 『まなびボックスプラス以外のアプリやブラウザの画面はすべて閉じてください。』
④CBT の目次画面への遷移の指示	□CBT の目次画面への遷移の指示 『では、HOME/がくしゅう画面下の「自分から」タブから「操作練習問題」をクリックしてください。』 □CBT の目次画面への遷移の確認
操作練習問題の実施	□ はチェック項目、『 』はセリフ
①操作練習問題の開始の指示	□操作練習問題開始の指示 『今から、操作練習問題を開始します。練習時間の目安は5分です。』 『コンピュータが動かないなど、困った時や質問がある時は、静かに手を挙げてください。』 『では、目次画面上に表示されている「操作練習問題」をクリックして始めてください。』

	<p>□操作練習問題画面への遷移の確認</p> <p>『次に出てきた灰色の画面でクリックすると問題が始まります。それでは、クリックして始めてください。』</p> <p>『画面がなかなか変わらない人はコンピュータを操作しないで、少し待ってみてください。』</p>
<p>②操作練習問題の実施中</p> <p>【必要に応じて、個別に】</p>	<p>『画面左下の「正解表示」ボタンを押すと○×が出ますので、正しく入力できているか何度でも試してみましょう。』</p> <p>『「テスト終了」ボタンを押し、「テストを提出する」を選ぶと、テストは終了となります。誤って提出してしまった場合は、目次画面からもう一度「操作練習問題」を選択すると、再度問題に取り組みます。』</p> <p>(物理キーボード使用で申し込んでいる場合) 『<u>18問目と19問目</u>はコンピュータにキーボードがついていない学校用の問題ですので、取り組む必要はありません。飛ばしてください』</p> <p>(物理キーボード不使用で申し込んでいる場合) 『<u>16問目と17問目</u>はコンピュータにキーボードがついている学校用の問題ですので、飛ばして次の問題に取り組みましょう。』</p> <p>※問題の内容や操作に関する質問が出た場合は、適宜回答をお願いします。また、周囲の生徒と相談させても構いません。</p> <p>※質問や不具合に対応した際には、校内でどのようなものがあったかを共有し、本番までに必要な対応をお願いします。</p> <p>※最後まで終わったら「テスト終了」ボタンを押し、「テストを提出する」を選ぶように指示してください。</p>
<p>操作練習問題の終了</p>	<p>□はチェック項目、『』はセリフ</p>
<p>①終了の指示</p>	<p>□操作練習問題終了の指示</p> <p>『これで操作練習問題は終了となります。』</p> <p>『操作練習問題は何度でも実施できるため、操作に不安がある場合は、テスト本番まで何度でもやってみましょう。』</p> <p>□CBTの画面を閉じる</p> <p>□コンピュータの電源オフの指示</p>

(3) 操作練習実施後

- ・受検対象者全員の接続に問題が見られた場合は、ICT支援員等に相談して問題を解消するか、分散実施をご検討ください。
- ・実施日時を変更する場合は、必ず「まなびボックスプラス」上で日時変更の申し込みをしてください。また、変更には弊社での承認作業が必要になるため、以下のいずれかより必ず弊社までお知らせください。

●新学社 SingCBT 担当 (singcbt@sing.co.jp)

⇒ 標題の最初に【CBT 問い合わせ】とご記入ください

●株式会社新学社 お問い合わせ窓口 <https://www.sing.co.jp/corp/contact/faculty/>

2 CBT 実施前日～当日

2-1 前日～当日のスケジュール

	内容	時間の目安
前日まで	「まなびボックスプラス」から、受検予定のクラスについて「申込完了」と表示されているか確認 総ルビ版が必要な生徒への切り替え 端末の充電（試験監督先生用・生徒用とも）	
実施前 ※休憩時間でも可	担任の先生によるログイン操作 入室・着席 メモ用紙の配付 生徒のログイン操作 生徒への説明	5分
実施中	テスト問題実施 ※英語のリスニングの所要時間は9分程度です。なお、英語のリスニングの問題文は2回読み上げます。	45分
実施後 ※休憩時間でも可	生徒のログアウト操作 メモ用紙回収 端末の充電（必要に応じて）	5分

2-2 CBT 実施当日の準備

最終確認として、生徒の入室前に、次の準備をお願いいたします。

- (1) 実施に必要な資材（「実施マニュアル」「メモ用紙」「英語リスニングCD」）の確認
- (2) CBTの解答に参考となる資料等が実施場所がないことの確認
- (3) 「まなびボックスプラス」へ教師用アカウントでのログイン
- (4) CBT 申込完了の確認（ルビ版は必要な生徒に配信されているか）

2-3 生徒への周知事項

生徒が円滑に取り組むために、次の(1)～(5)の事項をテスト開始前に周知してください。

- (1) 「テスト中、メモをとっても構いません。ただし、メモを取る場合は、配付したメモ用紙を使用してください。テスト終了後に回収します。別紙の使用は禁止とします。」
- (2) 「テスト中は、Webブラウザの『戻る』ボタンを押さないようにしてください。誤って押した場合は、開始画面に戻ります。この場合はもう一度初めからやり直してください。」
※iPadの場合のみ。Windows OSおよびChrome OS（Chromebook）では、強制的に全画面表示になるため、『戻る』ボタンは押せません。
「うまく動作しない場合は、ブラウザの更新ボタンを押してください。それでも動かなければ、静かに手を挙げて先生を呼んでください。」（フリーズ時の対処方法はp.13参照）
- (3) 「早く解き終わった場合は、見直しをしてください。」
- (4) 「わからないことがあったり、機器の不具合等で困ったりしたときは、静かに手を挙げて先生を呼んでください。問題内容に関する質問には答えられません。」

- (5) 「テスト中は、Web 検索や他のアプリを使用することを禁止します。また、スマートフォンや電子辞書、教科書等も使用することはできません。」

2-4 実施にあたっての留意事項

留意事項	内容
(1) テスト風景の撮影等	テスト風景の撮影や録画は可能ですが、問題漏洩防止の観点から、画面が映らないようにするなどご配慮ください。
(2) 生徒の参加	CBT 実施を申し込んだ学級以外の生徒が受検することはできません。
	生徒が遅刻した場合、「CBT 開始」ボタン押下後は参加することができません。追試での対応をご検討ください。
	生徒が途中で離席した場合、そのままの状態にしておき、戻ってきたらそこから引き続き実施させてください。他の生徒の終了と同様に、離席した生徒も終了させてください。
	生徒が途中で早退した場合、そこまでの結果で終了としてください。該当コンピュータは解答を中断している状態で Web ブラウザを閉じて、コンピュータをシャットダウンしていただいて構いません。
(3) テスト実施中の対応	テスト実施中は、生徒の画面が見える位置での試験監督をお願いします。
	早く解き終わった場合は、見直しをするよう指示してください。
	生徒に対して、問題の内容に関する質問には答えないでください。
	実施中に機器やネットワーク等にトラブルが発生した場合は、対応をお願いいたします。
	日本語指導や特別な配慮が必要な生徒のサポートについては、学校の実態に合わせて判断し、サポートしてください。ただし、問題の内容に関する質問に答えたり、解答のサポートをしたりすることはお控えください。

3 CBT 実施台本 ※以下の台本を参考に、進行してください。

CBT の開始まで	□ はチェック項目、『 』 はセリフ
①生徒の着席の指示	<input type="checkbox"/> 生徒の出欠確認 ※出席者が全員実施対象になっているかご確認ください。
②筆記用具等の準備の指示	<input type="checkbox"/> 筆記用具等の準備 『鉛筆やシャープペンシル、消しゴムを机の上に出してください。』
③コンピュータ等の準備の指示	<input type="checkbox"/> コンピュータ等の準備 『コンピュータの電源を入れてください。』 『質問がある時は、静かに手を挙げてください。』 <input type="checkbox"/> 全員のコンピュータにログイン画面表示
④メモ用紙の配付	<input type="checkbox"/> メモ用紙の配付 『これからメモ用紙を配付します。』 『組・番号・名前を記入してください。』 『スペースが足りない場合は、消しゴムで消して書いてください。』
⑤まなびボックスプラスへのログインの指示	<input type="checkbox"/> システムへのログイン 『まなびボックスプラスにログインしてください。』 『画面がなかなか変わらない場合は、コンピュータを操作せずに少し待ってみてください。』 <input type="checkbox"/> ログインの確認 『まなびボックスプラス以外のアプリやブラウザのタブはすべて閉じてください。別のアプリやブラウザが動作している場合は、テストが正常に行えない可能性があります。』
⑥CBT の目次画面への遷移の指示	<input type="checkbox"/> CBT の目次画面への遷移の指示 『では、ホーム画面上の「配信されたテスト」に表示されている「〇〇」（教科名）をクリックしてください。』 <input type="checkbox"/> CBT の目次画面への遷移の確認 『では、目次画面上に表示されている「〇〇」（課題名）の「開始」ボタンをクリックしてください。』 <input type="checkbox"/> CBT 承認待ち画面の確認【重要】 『教科がまちがっていないか確認しましょう。「承認中です。お待ちください」という表示が出ていたら、そのまま待ちます。表示が出ていない人は手をあげてください。』 『まちがった教科を選択してしまった場合は、「キャンセル」ボタンを押して、正しい教科に入りなおしましょう。』 ※「まなびボックスプラス」の教師用画面で「CBT 開始」ボタンを押すと、該当教科の「承認待ち」画面になっている生徒が緑色で表示されます。 <u>受検者全員が受検対象（緑色の表示）になっているか、必ずご確認ください。</u>

⑦CBT の開始	<input type="checkbox"/> CBT 開始ボタンを押す ※「まなびボックスプラス」の教師用画面で操作
CBT の実施	<input type="checkbox"/> はチェック項目、『 』はセリフ
①問題の開始の指示	<input type="checkbox"/> 開始の指示 『今から、テストを開始します。時間は 45 分間です。問題の見直しが終わったら、静かに終了時間まで待ってください。』 『コンピュータが動かないなど、困った時や質問がある時は、静かに手を挙げてください。問題の内容に関する質問には答えられません。』 『次の問題に進むときは、画面右下の「次へ」ボタンを押してください。』 『では、「開始」ボタンをクリックして始めてください。』 <input type="checkbox"/> テスト実施画面への遷移の確認 『次に出てきた灰色の画面でクリックすると問題が始まります。それでは、クリックして始めてください。』 『画面がなかなか変わらない人は、コンピュータを操作しないで、少し待ってみてください。』 <input type="checkbox"/> 英語リスニング CD の放送（英語のみ） 『今から、リスニング問題の放送を始めます。放送をよく聞いて答えてください。』
②問題の実施中 【必要に応じて、個別に】	『早く終わった場合は、問題の見直しをしてください。』 『「テストを提出する」を押すと戻ることができませんので、しっかり見直しましょう。』 『見直しが終わったら、「テスト終了」ボタンを押し、「テストを提出する」を選んでください。』 ※試験中は、生徒の画面が見える位置での監督をお願いします。 ※問題の内容に関する質問には答えられないので、問題をよく読むことや、わからない時は次に進むように指示します。 ※早く解き終わった場合は、見直しをするように指示してください。 ※見直しが終わったら「テスト終了」ボタンを押し、「テストを提出する」を選ぶように指示してください。

- ◆何らかの理由で生徒が CBT 画面から出た場合の対処法 p13 の Q&A もご参照ください。
- ① CBT 目次画面に戻った場合は、画面上の方の「**実施中**」のテストから、**該当のテストを選び、「再開」を押します。**それまで生徒が入力した内容が保存されていますので、続きに取り組むよう指示してください。
 →「承認待ち」状態になるため、教師用画面から「CBT 開始」ボタンを押し、承認してください。
- ② CBT のログイン画面に戻った場合は、いったん CBT のタブを閉じ、「まなびボックスプラス」から CBT 目次画面に遷移し直します。生徒用ホーム画面に CBT が表示されていない場合は、「自分から」タブから「操作練習問題」をクリックすると、CBT 目次画面に遷移できます。以後は①の処理を行います。
- ③ 機器の不具合等で予備の機器に切り替えた場合も、該当生徒本人のアカウントで「まなびボックスプラス」にログインした後、②と同様の処理を行います。※別のアカウントは使用しないでください。

CBT の終了	□ はチェック項目、『 』はセリフ
① 終了の指示	<input type="checkbox"/> 終了の指示 『これで終了となります。最後まで終わらなかった人は、最後の画面にたどり着くまで「次へ」ボタンを押して、「テストを提出する」を選んでください。』 <input type="checkbox"/> CBT の画面を閉じさせる <input type="checkbox"/> コンピュータの電源オフの指示 <input type="checkbox"/> 「まなびボックスプラス」の教師用画面で CBT 終了ボタンを押す 【重要】 ※CBT 終了ボタンを押さないと、結果資料の配信ができません。 必ず CBT 終了ボタンを押してください。
② メモ用紙の回収の指示	<input type="checkbox"/> メモ用紙の回収 『メモ用紙を回収します。』 <input type="checkbox"/> メモ用紙の枚数確認 <input type="checkbox"/> 問題の内容に関しては他言無用であることの指示 『今後も、他の学校でテストが実施されますので、問題の内容は他の人に教えないでください。』 <input type="checkbox"/> 端末の充電（必要に応じて）

※本テストは IRT（項目反応理論）を導入しており、今回出題した問題は来年度以降も出題の可能性がります。万一問題漏洩があった場合、生徒の学力を適切に推計できなくなるため、メモ用紙については、生徒には返却せず、御校で適切な処分をお願いいたします。

4 CBT の追試

CBT の追試は、1 教科・1 クラスにつき 1 回のみ可能です。

当日と同様の流れで、実施をお願いいたします。

結果資料の配信後は追試を実施できませんので、ご注意ください。

5 結果資料の確認・配信

クラスの全受検者・全教科のテスト実施が完了すると、記述問題をのぞいたテスト結果の確認や生徒への配信が可能となります。記述問題の採点には 3・4 営業日程度いただきます。「まなびボックスプラス」からの通知にしたがって、結果の確認や生徒への配信を行ってください。全国平均などの集計結果は実施翌日に確認可能となります。テスト結果の配信は 1 クラス単位でも可能ですが、全クラスの受検が完了し、校内平均や順位などの結果が出てから配信してください。

長期欠席等でテストを実施しない生徒がいる場合は、「まなびボックスプラス」からテストを完了させてください。

なお、生徒に結果を配信して 1 週間までの期間は、生徒がテストの結果資料から問題にアクセスすることができます。ふりかえりに利用するよう指導をお願いいたします。

6 Q & A

疑問や不明なことは、以下のQ & Aでご確認ください。その他のご質問等は、サポートサイトにお問い合わせください。

【ログイン】

Q. 「まなびボックスプラス」のログイン画面が出ない。

URL が正しいか、もう一度ご確認ください。それでも出ない場合は、ネットワークへの接続に問題がある可能性があります。別のコンピュータに変更し、再度アクセスしてみてください。

Q. 「まなびボックスプラス」にログインができない。

ID・パスワードが半角で正しく入力されているかをご確認ください。
ログインには時間がかかる場合がありますので、エラーメッセージが表示されない場合はしばらくお待ちください。

Q. 教師が『CBT 開始』ボタンをクリックして生徒が CBT の『承認待ち』画面を開いているかを確認する際、生徒が『承認待ち』画面を開いているのに、教師用の一覧画面に反映されない。

教師用の一覧画面には、一覧画面を開いた時点までに『承認待ち』画面を開いている生徒が『承認待ち』状態（緑色の選択可能な状態）として表示されます。教師が一覧画面を開いたのちに、『承認待ち』画面を開いた生徒の情報は反映されませんので、一度教師用の一覧画面を閉じ、『CBT 開始』ボタンをクリックして再度開いてください。


Q. CBT を開始したら全画面表示になった。

Windows OS および Chrome OS (Chromebook) では、強制的に全画面表示になります。
全画面表示を解消しようとする、テスト開始画面に戻りますが、クリックすることで再開できます。

【CBT の説明～実施中】

Q. 読み込み状態が続く、問題が表示されない。コンピュータ自体がフリーズした。

以下の手順でご対応ください。

- ① Web ブラウザで、ページの「更新（再読み込み）」を行う。（iPad の場合）
- ② 〔①で解決しない場合〕右上のホームボタン  から CBT の目次画面に戻り、「実施中」のテストを選択する。→「承認待ち」状態になるため、教師用画面から「CBT 開始」ボタンを押して承認してください。
- ③ 〔②で解決しない場合〕右上のログアウトボタンで CBT からログアウトし、「まなびボックスプラス」から再度 CBT の目次画面に遷移し、②の処理を行う。
- ④ 〔③で解決しない場合〕web を強制終了し、「まなびボックスプラス」から再度 CBT の目次画面に遷移し、②の処理を行う。※「まなびボックスプラス」のホーム画面に CBT が表示されていない場合は、「自分から」タブから「操作練習問題」をクリックして CBT 目次画面に遷移する。
- ⑤ 〔④で解決しない場合〕コンピュータを再起動し、④の処理を行う。
- ⑥ 〔⑤で解決しない場合〕代替コンピュータに変更し、④の処理を行う。

※ 英語のリスニングの放送中に画面がフリーズした場合は、そのまま実施を続けていただき、他の生徒のテスト終了後に該当の生徒のみ、リスニングを再実施してください。（当初の申し込み時間を過ぎると CBT は実施できなくなりますので、あらかじめ実施時間を当日 9時から 17 時として申し込みされることを推奨します）

Q. テストが中断した場合どうするか。

誤操作や不具合等で、Web ブラウザが強制終了された場合やフリーズしてしまった場合でも、その時点までの解答が保存されています。このような場合は、再度ログインして、「実施中」のテストを選んで再開してください。

※教師用画面からの承認が必要です。p11 下段を参照ください。

Q. CBT 実施中に CBT と違う画面に切り替わった。

① CBT のログイン画面に戻った場合は、「まなびボックスプラス」から再度 CBT 目次画面に遷移し、「実施中」のテストを選んで再開してください。

② CBT の目次画面に戻った場合は、「実施中」のテストを選んで再開します。

③ その他の画面が表示された場合は、Web ブラウザを再起動してください。

※いずれの場合も、教師用画面からの承認が必要です。p11 下段を参照してください。

Q. 漢字や言葉の意味について生徒から質問が出た。

問題の内容に関する質問には回答せず、画面に表示された文章をよく読むようにご指示ください。どうしても分からない場合、この問題は飛ばして次に進むように指示してください。ただし、CBT 開始までの操作については、質問に対応してください。

【実施時期・日程】

Q. CBT の実施日時を変更することはできるか。

「まなびボックスプラス」から申し込み日時を変更することができます。変更には弊社での承認作業が必要になるため、お手数ですが標題の最初に【CBT 実施日変更】とご記載いただき、下記アドレスにメールでご連絡ください。

新学社 SingCBT 担当 singcbt@sing.co.jp

Q. CBT の実施時間を延長することはできるか。

申し込み時間を過ぎると、CBT は自動的に終了となります。実施時間が前後しても問題ないよう、実施日の 9時から 17 時を実施時間としてお申込みください。（「CBT 終了」ボタンで終了すると、申込の時間に関わらず CBT は終了となります。）

【実施対象】

Q. 転入により受検生徒が増えた場合はどうするか。

「出題のポイント」配信後は、クラス数や受検者数を増やすことはできません。注文時に「まなびボックスプラス」未登録で、弊社でクラス設定をした場合は、ご提供済の予備のアカウントをご使用ください。CBTご注文時に「まなびボックスプラス」登録済みだった場合で予備の生徒アカウントがなく、「出題のポイント」配信がお済みの場合は、下記アドレスにメールにてご連絡ください。 新学社 SingCBT 担当 singcbt@sing.co.jp
また、いずれの場合にも弊社特約店にその旨ご連絡をお願いいたします。

Q. 生徒が遅刻してきた場合はどうするか。

先生が「CBTを開始」ボタンを押したあとに、遅れて来た生徒がCBTを受検することはできません。開始時に不在の生徒については欠席扱いとし、追試での対応をご検討ください。

Q. 生徒が途中退席した後、また戻ってきた場合はどうするか。

生徒が離席した場合、そのままの状態にしておいてください。戻ってきたら、そこから引き続き実施してください。時間の延長はしないでください。

Q. 生徒が早退した場合はどうするか。

先生の方でテストを終了させ、生徒が使用していたコンピュータはブラウザを閉じてシャットダウンしてください。

Q. 別の学年や学級でも実施することはできるか。

対象学年・学級以外での実施はできません。

Q. 生徒以外に、学校の教職員と一緒にCBTに参加することはできるか。

対象となる生徒以外がCBTに参加することはできません。また、実施校の担当以外の教職員が立ち会ったり、写真や動画の撮影をしたりすることは可能ですが、問題内容が映り込まないようにご配慮ください。

【地域や保護者等への対応】

Q. CBT実施の様子を学校のホームページに掲載することはできるか。

可能ですが、問題漏洩防止の観点から、画面が映らないようにするなどご配慮ください。

Q. CBT実施の様子を学校だより、学年だより、学級だより等に掲載することはできるか。

可能ですが、問題漏洩防止の観点から、画面が映らないようにするなどご配慮ください。

Q. 地元の地域新聞等の取材は受けてもよいか。

弊社営業担当者まで、事前にご相談ください。

【CBT システムや出題問題、資料等】

Q. コンピュータは貸与されるのか。

弊社からの貸与はありません。各学校でご準備ください。なお、コンピュータの機種等を統一する必要はありませんが、「物理キーボードを使用する」と申し込まれた場合は、必ず物理キーボードを使用してください。物理キーボード専用の問題が配信されているため、物理キーボードがない場合、キーボード入力での回答する問題に回答できません。

Q. CBT 実施前に当日の練習をかねて問題内容を確認することはできるか。

生徒用アカウントでは、1回しか CBT を実施できないため、使用は厳禁です。事前に問題内容や操作を確認したい際は、教師用アカウントからアクセスしてください。

教師用画面から「CBT を開く」ボタンが押せない場合は、アカウント設定画面で SingCBT と連携できているか、ご確認ください。

Q. メモ用紙の準備は必要か。

計算用紙やリスニング問題のメモなどのため、全教科でメモ用紙が必要です。CBT 申込用紙でメモ用紙「要」となっていれば、クラス数×教科数×40 部のメモ用紙をお送りいたします。

学校でメモ用紙を用意される場合は、紙のサイズ等の指定はございません。問題漏洩を避けるため、テスト実施後に必ず回収し、適切に処分いただくようお願いいたします。